

# 知財事業開発スキル(東京)

～ビジネスモデルから知財を語る～

<b>実施日程</b>	第1回： 8月 2日(水) 18:30～21:45 弁理士会館 第2回： 8月30日(水) 18:30～21:45 弁理士会館 第3回： 9月27日(水) 18:30～21:45 弁理士会館
<b>受講料</b>	30,000円(税込・テキスト代込)
<b>対象者</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 知財経営コンサルタントを目指す弁理士であって、経営コンサルタントの考え方と使用するツール等を理解したいと考えている方(中小企業支援を目指す弁理士は特に望ましい)</li><li>● 企業にお勤めで、知財の事業への貢献について他部門に分かりやすく提言したい方</li><li>● 起業をしている、又は予定しており、ビジネスモデルの構築法を身に付けたい方</li><li>● 知財ビジネスアカデミー「経営基礎コース」受講者並びに同程度の知識・経験を有する会員、これらに準ずるゲスト</li></ul> <p>※ 日本弁理士会では「弁理士知財キャラバン」事業を進めています。本講座は、この「履修支援員となるための研修」を受講されていた皆さまが次のステップに進むために、お役に立つ内容です。</p>
<b>概要 ねらい</b>	<p>「企業が、知財に投資する価値を見出すのは、どんな時か？」その答えの1つは、専門知識がない経営陣でも、知財が自組織のビジネスにどう貢献してくれるのか、明確に理解できた時ではないでしょうか。本講座は、複雑なビジネスモデルの全体像をつかむツール、“ビジネスモデル・キャンパス”(BMC)*を活用して、事業全体に貢献する知財のあり方を、専門外の相手にもわかりやすく提言することを目指す、実践型ワークショップです。</p> <p>第1回では、講義と演習を通じて、ビジネスモデル構築のポイントや、事業スタートアップを成功させるために重要な一連のフローと考え方を理解します。第2～3回では、自社やクライアント企業の実際のビジネスモデルを取り上げて、「知財がビジネスモデルをどう強くできるのか」検討し、周囲や講師からフィードバックを得て、アイデアをブラッシュアップしていきます。本講座を通じ、知財を深く知る専門家としての視点と、ビジネスモデルを俯瞰する全体最適の視点の両方をもった、知財戦略コンサルタントとしての基礎力を得ることがねらいです。</p> <p>ここで、受講生が企業に対して提供している知財業務での悩みを質問して、この悩みと経営全体の俯瞰とが繋がることを目指します。</p> <p>*【参考：ビジネスモデル・キャンパス(BMC)とは】 ビジネスモデル・キャンパスとは、45か国470人のビジネスモデルイノベーションの実践家が共同執筆し、全世界で65万部を突破したビジネス書『ビジネスモデルジェネレーション』が提唱する、ビジネス創造のツールです。顧客価値を中心に置き、顧客・パートナーとの関係性の創出や、社内外の知識資産活用に焦点を当てながら、ビジネスモデルの構築に必要な全要素を1枚の紙にモレなく・ダブリなく表現できます。経営における異なる立場・視点を超えて理解できるシンプルさと、国や業界を問わず、あらゆる今日的ビジネスモデルへ適用できる汎用性が、全世界の起業家や経営者、コンサルタントに高く評価されています。</p>
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事業変革/事業開発の手法・ポイントを理解する。</li><li>● その知財戦略が事業全体の価値をどう上げるか、それはなぜなのか、説明できる。</li></ul>
<b>受講者の声</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規事業開発の際に、財務と並行してやることを学ぶことができました。</li><li>・新しいビジネスをBMCの切り口で捕らえることができるようになりました。</li><li>・アイデアをひねり出す手法を色々知るきっかけでき、実践で利用したいです。</li><li>・仕事でBMCを用いる際に、より深く理解した上でクライアントに示すことができるようになりました。</li></ul>



担当  
講師

寺石 雅英 (てらいし まさひで)

一橋大学商学部卒業。一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了。名古屋商科大学商学部講師、助教授、群馬大学社会情報学部教授等を経て、2011年4月より大妻女子大学キャリア教育センター教授。群馬大学名誉教授。この間、郵政研究所、日本資産流動化研究所、建設経済研究所、道路経済研究所等の客員研究官や研究委員、国際ベンチャー企業協議会監事、実践経営学会理事などを歴任。2001年には、国立大学教官として日本初のJASDAQ上場企業の社外監査役に就任(株エスイー)。さらに現在は東証1部に上場する総合余暇サービス提供企業の社外監査役も務める(株コシダカホールディングス)。全国の地域振興プロジェクトや温泉旅館の再生プロジェクトのコンサルタントとしても活躍中。専門はファイナンス論、起業論、観相統計学、交渉論。主著に、『ベンチャー創造のダイナミクス』(文眞堂)、『創造への感知力』(ファズボックス)、『ザ・統計学』(ファズボックス)等。

内容  
(予定)

【第1回】

<レクチャー&演習>

- オープニング：経営に資する知財専門家になるために
  - ・ 顧客のビジネス支援に関する自身の課題/悩み、本講座への期待を共有
- 事業開発のプロセス
  - ・ 企業はなぜ事業に乗り出すのか？
  - ・ 事業開発の大部分はなぜ失敗するのか？
  - ・ ビジネスモデル構築と仮説検証の同時進行
  - ・ ビジネスモデル構築と財務シミュレーションの同時進行
- 事業コンセプトの創造手法
  - ・ 代表的な事業アイデア発想法
  - ・ 顧客ニーズの強さと未充足度
  - ・ 事業アイデアから事業コンセプトへ
- ビジネスモデルの成功事例分析
  - ・ 成功企業のビジネスモデルの類型化
  - ・ レベニューシェア型ビジネスモデルの成功事例
- ビジネスモデルの構築手法：ビジネスモデル・キャンバス
  - ・ ビジネスモデルを構成する9要素：バリュープロポジション/顧客セグメント/チャンネル/顧客との関係(ゲット、キープ、グロー)/キーリソース/キーパートナー/売上とプライシング/コスト構造
- 宿題：所属している企業ないし顧客企業のビジネスモデルを(知財の位置づけ/役割に留意しつつ) BMC に落とし込む

## 【第2回】

### <レクチャー>

- 財務シミュレーションの方法
  - ・ ビジネスモデルから財務諸表への落とし込み
  - ・ 必要資金の見積りと資本政策
  - ・ リスク分析
- 仮説検証とビジネスモデルの更新
  - ・ 仮説検証のプロセス（実験、インタビュー、テスト販売等）
  - ・ データの整理
  - ・ ビジネスモデルの実証
  - ・ 収益モデルの実証
  - ・ ピボットか本格参入か？

### <ワークショップ>

- 宿題の共有、相互フィードバック、講評
  - BMCをブラッシュアップするための仮説構築
- 宿題：情報収集により仮説を検証し、BMCをブラッシュアップさせる

## 【第3回】

### <レクチャー>

- ビジネスモデルを“離陸”させるために

### <ワークショップ>

- 宿題の共有、相互フィードバック、講評
  - ・ 前回のBMCからなにをどうブラッシュアップしたか
  - ・ どんなインサイト・発見があったか
- まとめ：経営に資する知財のために
  - ・ 学んだ知識スキルをどう活かそうか
  - ・ Q&A